

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

# 直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和元年度 第4号  
令和元年9月15日発行  
<発行・編集>  
直東学園 事務局  
〒942-0041  
新潟県上越市安江 282-1  
(上越市立直江津東中学校内)  
TEL : 025-543-2729  
FAX : 025-543-4150  
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

## 学力の確かな定着に向けて～学力向上部の取組～

直東学園の昨年度 NRT 学力調査（平成 31 年 1 月末実施 小学校：国語、算数 中学校：国語、数学、英語）の結果は、各校、各学年とも全国平均を上回る高い成果が見られました。児童生徒の頑張りはもとより、学校における弛まぬ授業改善、家庭における良生活習慣及び家庭学習の良習慣の取組が、こうした望ましい結果を挙げています。

直東学園の保護者、地域の皆様のご理解とご協力に深謝しつつ、学力向上部では継続してきた取組の上に、以下のとおり今年度の取組を重ねていきます。

### 1 より「わかる・できる」を目指す授業力向上に向けて-学園初、全教職員による教科部会の実施-

令和元年6月4日（火）午後3時から午後4時40分まで、直江津東中学校において、テーマ「9年間を連携しながら進める教科指導の在り方—新学習指導要領実施にかかわり、直東学園教職員としてなすべきこと—」と題し、授業力向上を目指す教科部会を行いました。約120人の小中学校教職員が11の部会に分かれ、児童生徒の実態を共有し、小中学校9年間を見通した教科指導の在り方を協議しました。（設置部会：①国語・書写部 ②社会科部 ③算数・数学部 ④理科部 ⑤生活科・総合学習部 ⑥音楽部 ⑦図工・美術部 ⑧技術・家庭部 ⑨体育・保健部 ⑩外国語部 ⑪道徳部）

各教科部会では、次のような内容が確認されました。例えば国語・書写部会では「読むことを嫌がらない子に育てる。特に、説明文の読みが大切。根拠をもたせて読ませることは、中学校へつながる重要な力」、算数・数学部会では『「なぜ、そうなるのかを問う」考える楽しさを求めることや基礎基本のサイクルを実践していく』などです。各教科部会で確認されたことを実践するために、全教職員一丸となり授業力向上に尽力します。



【道徳部会から】

### 2 その他の取組

- (1) NRT 学力調査結果の分析を各校で共有及び学力向上課題の明確化と対策
- (2) 家庭学習習慣の定着と充実 【学年×10分、ご家庭での学習習慣づくりを進めましょう】
- (3) 規律ある落ち着いた学習習慣づくりの推進  
【各学級の実態に即した『学習の約束十か条』の活用】
- (4) 毎月10日ノーテレビ及びノーゲーム運動の実施  
【ご家庭での約束を決め、守る取組を進めましょう】

\*児童生徒に確かな学力が身に付くよう、引き続き、ご家庭でのご支援をお願いいたします。

## 北諏訪小学校の取組

「学び合い、お互いに高め合って課題を解決する子」の育成を目標に、以下の取組を行っています。

### ○新学習指導要領実施に向けた算数科の授業実践

上越算数・数学研究会と連携して算数科の授業力向上を目指しています。「数学的な思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高める授業づくり」をテーマに、問いが生まれる課題の設定と数学的活動の工夫に取り組んでいます。11月には研究会も予定されています。



### ○学力向上の取組

#### ①授業改善

- ・「学習の約束十か条」の定着を図ります。
- ・課題提示、山場、振り返りを考えた授業構成を工夫します。

#### ②基礎学力を定着させるための取組

- ・全校漢字・計算テストを実施します。
- ・ワークテスト、Web配信テスト等を学力向上に生かします。

#### ③よく聴き、話す活動の充実

- ・ペアトークやグループ活動など伝え合う場を工夫します。
- ・上手な話の聴き方を定着させます。
- ・朝の会・宿題での週末読書を、さらに取り組みます。
- ・統一した形式のシートによる、書く活動の充実を図ります。

#### ④家庭学習の充実

- ・小中の連携を図りながら「学年×10分」の家庭学習の定着を図ります。
- ・頑張っている子どもの自主学習のノートを掲示して、意欲を高めます。

#### ⑤体験的な活動の充実

- ・様々な学習で体験的な活動を取り入れます。

## 保倉小学校の取組

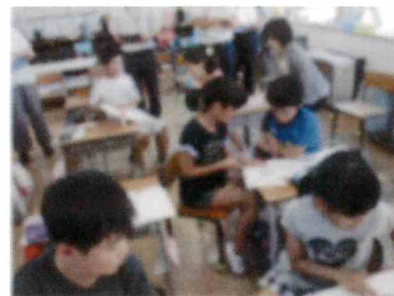
### ○授業研究・授業改善

「自ら学び、考えを広げ深める子どもの育成～対話的活動の充実を通して～」をテーマにした研修の4年次です。授業展開を「①つかむ ②つくる ③ふかめる ④ふりかえる」の4段階とし、その中でも特に「③ふかめる」に重点を置き、研究主題に迫っています。

研究の視点は以下の3つです。

- ①問いを生み出し、学びに向かう力を高める学習課題設定の工夫
- ②考えを深めるための対話的活動の工夫
- ③研究を支える日常的な指導の充実

特に「自己内対話」や「他者との対話」の双方を充実させることで、考えを広げ深める子どもの育成を考えています。



【自分の考えを紹介し合う友達タイム】

### ○読書意欲の喚起と読書活動

学力向上や豊かな心の醸成を目的に、以下の読書活動を推進する取組を行います。

- ・学年別年間読書の目標冊数設定
- ・たくさん読書をした児童の表彰
- ・ボランティアによる読み聞かせ
- ・読書旬間での親子読書の勧め
- ・読書郵便での感想交流

なお、1学期の児童アンケート結果では、進んで読書ができた児童が昨年度を上回る88%に達することができました。

### ○職員ミニ研修会

長期休業や研修の時間を利用して、職員ミニ研修会を行っています。これまで「25m泳げる水泳指導」「地域の素材を生かした総合的な学習の時間の実践」等、職員の得意分野や実践紹介をしたりしながら、職員同士で学び合う研修を進めています。

## 有田小学校の取組

教育目標「あたたかく くりそうはたかく たくましく」を受け、今年度の研究主題を「自ら考え、進んで道徳的实践ができる子どもの育成～心豊かな人間性を育てる道徳教育の在り方～」として校内研修を進めています。「子どもたちの心の育成」が、開校2年目である当校の大きな課題であるからです。そこで、次の4点を重点事項とし、子どもの心を耕しながら学力向上に取り組んでいます。

### ○公開授業研究の実施

特別の教科道徳では、学年の発達段階や実態に合わせた学習方法を工夫し、授業公開・協議会をしています。また、他教科においても道徳教育を意識した授業を展開しています。



【5月2年生公開授業】



【7月3年生公開授業】

### ○ソーシャルスキルの実施

全校ソーシャルスキル集会を実施した後、学年・学級の実態に合わせた学年ソーシャルスキル集会や関連した授業を実施し、実践意識が高まるようにしています。

### ○振り返りを工夫した特別活動の実施

遠足、縦割り班での活動の後は感想やメッセージの交流、振り返りの授業などを行い、仲間意識を育てるようにしています。



### ○内省的思考を育成する「学びのノート」の実施

日々の振り返りを連絡帳やノートに記しています。自分の頑張りを感じたり、新しい自分を発見したりし、自分の成長を実感していきます。

## 春日新田小学校の取組

当校は、「認め合い進んで学び合う子の育成～ステーション授業構想による集団づくり～」をテーマに研修を進めています。学級の仲間と学ぶ上で必要な対人的なスキルの獲得と向上を目指し、「かかわり方課題」や「道徳科で学んだ価値」を各教科・領域や実生活の中で生かすことができる授業づくりを行っています。それとともに、学力向上についても継続的に取り組んでいます。

### ○主体的な問題解決のある授業づくり

授業のねらいの達成や学習活動の目的に沿った交流型学習を取り入れています。

また、交流における適切なかかわり方のスキルについてまとめた「かかわり方課題」を日常的に活用しています。仲間との望ましいかかわり方の定着・般化・維持によって、研修テーマ「認め合い進んで学び合う子の育成」が達成できると考えているからです。



### ○基礎的・基本的な学習内容の定着

基礎的・基本的な学習内容の定着のためには、計画的な学習習慣の指導が大切です。そこで、「学習の約束十か条」を提示し、学級の実態に即して重点項目を設定したり、ICTを日常的に利活用したりしています。

また、Web配信問題や学習指導改善調査、NRT学力調査の分析から、課題を克服するための授業を構想したり、重点単元を設定したりするなど、次に生かすことができる職員研修を実施しています。

### ○家庭学習習慣の育成

「学年×10分」の定着を図るため、家庭への啓発や連携に努めたり、フリー参観日に各学年の取組例を紹介して家庭学習の意欲と内容の質の向上に励んだりしました。

また、学期1回「スタディーウィーク」を実施しています。学年の目標時間を達成した児童は93%でした。2学期は、児童がさらに集中して家庭学習に取り組むことができるよう、健康づくり部と連携し、アウトメディアと併せて実施していきます。



## 直江津東中学校の取組

本年度の東中は、「学び合う集団」と「学び合う授業」に力を入れています。人間関係づくりを基盤にした上で、学力向上を目指しています。

### ○補充学習にも力を入れています

昼休み学習会や定期テスト前の質問教室などを利用して、補充学習に力を入れています。今年度の夏休みもクーラーのきいた快適な教室を利用して、数回の登校日を設けました。自主的に登校する生徒も増え、1学期の復習をすることができました。



【1年生夏休み学習会の様子です】

### ○各種研究授業を開催しています

6月13日に上越市教育委員会の指導主事を迎え授業公開を行いました。授業公開を通して、授業改善に取り組んでいます。



【班で意見をまとめています】

今年度も生徒同士、教員と生徒の良好な人間関係により、落ち着き続けることができている。さらにレベルアップを目指して、職員研修を重ねています。



【授業後の教職員の研修会の様子です】

～授業公開のお知らせ～

- 11月6日(水) 技術・家庭科
- 11月26日(火) 数学

## ようこそ先輩



8月2日(金)にカルチャーセンターを会場に「ようこそ！先輩」が行われました。卒業生9名の方から講師をしていただき、働くことの意義、楽しさや苦しさなどを伝えていただきました。「看護師の仕事は思っていたよりたいへんな仕事だとわかりました。将来、私は看護師になりたいと思っています。お陰で看護師の仕事がよくわかりました」など、生徒の感想もたいへん前向きな内容が多かったです。

## 新潟県 同和教育 研究集会



今年度の同和教育研修会は、新潟県同和教育研究集会の参加に置き換え実施いたしました。8月8日(木)、会場は上越文化会館で、直東学園から75名が参加しました。今回は分科会がなく、特別講座が3講座行われました。特別講座Ⅰでは、全国人権教育研究協議会の古川正博さんから、「両側から壁をこえるために」～歌でたどる平和と人権の日本近現代史～という演題で、歌を交えた楽しい講演の中で身近な差別事案をもとに分かりやすくご講義をいただき、近現代史の認識を新たにすることができました。特別講義Ⅱでは、静岡大学教授黒川みどりさんから、「部落問題のいま」～近現代の歴史を振り返りながら～という演題で、ご講義をいただき、特別講座Ⅲでは、上越教育大学磯貝芳彦さんをコーディネーターとして、「同和教育 そして 人権教育へのおもいとねがい」のテーマで3名のパネリストから日頃の実践やお考えを聞くことができました。

今回の研究集会で学んだことを、日々の教育活動に生かしていきたいと思っております。

# 直江津東中学校 2 年生

## 職場体験で大きく成長！

直江津東中学校 2 年生は、7 月 8 日（月）～12 日（金）の 1 週間、職場体験を実施しました。上越市内 42 ヶ所の事業所にお世話になりました。直東学園の皆様からのお力添えに感謝です。

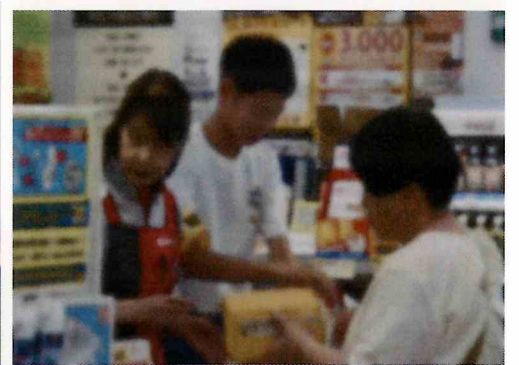
### 生徒アンケートから

- 自分から笑顔で場を盛り上げようとする姿が印象に残りました。働くとは、誰かのために頑張ること、誰かをよい気持ちになって笑顔になってもらうことかなあと思いました。（介護施設）
- 働くとは、「自分を成長させること」だと思いました。どんな場面でも、すぐに対応したり、自分の経験値を高めたりすることだと思います。（体育施設）
- 私は、働くとは、時間を守り、周りの人たちとコミュニケーションをとり、たくさんかわって、意見・友達・信頼などを得ることだと思いました。（教育施設関係）

### 職場体験ご協力事業所

- ・愛の家グループホーム上越源
- ・相村建設
- ・イオンリテール イオン上越店
- ・いちむら HAIR MORE
- ・稲垣鐵工
- ・おりづる 直江津店
- ・廻鮮富寿し 上越みなと店
- ・学校法人 マハヤナ幼稚園
- ・さくら園北さくら工房
- ・サトウ産業
- ・上越環境科学センター
- ・上越北消防署
- ・上越教育事務所
- ・上越市直江津図書館
- ・上越市立有田保育園
- ・上越市立北諏訪保育園
- ・上越市立水族博物館うみがたり
- ・上越市立直江津東中学校
- ・上越市立保倉保育園
- ・真行寺幼稚園
- ・スポーツクラブ JOYFIT 上越
- ・スポーツ DEPO 上越店
- ・聖公会聖上智幼稚園（オリーブこども園）
- ・DCM カーマ 直江津店
- ・デイホーム有田
- ・デイホームなごみの家
- ・富寿し 直江津店
- ・ナルス 上越インター店
- ・ナルス 直江津東店
- ・新潟労災病院
- ・白星社
- ・パティスリー リ・リ
- ・藤原医院
- ・フランス菓子レ・ドゥー
- ・ホテルセンチュリーイカヤ
- ・ホテルハイマート
- ・宮崎写真館
- ・門前にこここ保育園
- ・ヤマダ電機 テックランド上越店
- ・洋服の青山 上越セントラルスクエア店
- ・リージョンプラザ上越
- ・リボンスローライフきまち

**ご協力  
ありがとうございました。**



### 保護者・事業所の声から

- 最初は、あいさつやお礼を言うことができませんでした。日々体験を重ねる上で、あいさつやお礼をきちんと言うことができるようになりました。保護者のサインも毎日欠かさず確認することができ、保護者の職場体験への理解度の高さを伺うことができました。（事業所より）
- 利用者さんに喜んでもらえるように自分たちができることを考え、最終日には歌と芸を披露してくれました。利用者さんから「ありがとう！楽しかったよ！」と言われて、3人共に、とてもいい笑顔で終わることができました。（事業所より）
- 職場体験を通して、たくさんのことを学んだと思います。時間を守ること、あいさつ、返事の大切さ、服装など、どんな仕事でも大変だということを少しでも感じてくれたらよいと思います。（保護者より）